

県内学校ミニ・ニュース (袖ヶ浦市立奈良輪小学校)

本校は昭和58年に開校し、今年度で創立40周年を迎える全校児童691名、27学級の学校です。伝統的に読書教育に力を入れてきました。また令和3年・4年度には、袖ヶ浦市教育委員会よりICT推進校指定を受け、校内研修では「かかわり合いを通して、ともに学び合う児童の育成～学校生活における効果的なICT活用法～」をテーマに取り組んでいます。そこで、本校の読書教育とICT教育を紹介します。

読書教育

(1)ならわタイム（朝読書の時間）の実施

毎朝8:05～8:15は自由読書の時間です。今年度は、図書委員会が低学年へ読み聞かせも行いました。



(2)図書室の時間を1週間に1回確保

1～6年全学級に、図書室の時間が週1回あります。本の貸出や読み聞かせの他、学校司書と連携して、調べ学習や教科学習等の教科横断的な学習も行っています。



(3)図書委員会による「読書集会」の開催

毎年「読書集会」を行っています。お勧めの図書紹介や「魔法のランプ」のパネルシアターを行いました。



(4)2ヶ月に1回、親子読書週間の実施

同じ空間で親子読書を楽しんだり、家族への読み聞かせに挑戦したりする時間です。本好きな子を育てると共に親子の大切な時間にしてほしいと思っています。

本が大好きになった子供たち、一人1台のタブレットをすぐに文房具のように使えるようになった子供たちと一緒に、これからも生涯に役立つ教育を進め、深めていきたいと思っています。

ICT教育

(1)ICT公開授業の実施

昨年度の研究成果を市の小中学校に還元するため、6月に本校のICTリーダーが授業公開をしました。昨年度の実践集も配布しました。



4年道徳の授業

6年道徳の授業

(2)一人1実践の研究授業の実施

全担任が1実践の研究授業を行いました。教科を絞らなかつたため、効果的な教科や単元を見出すことができました。teamsやミライシード、パワーポイント等を活用することにより、児童の表現方法が増え、かかわりが深まったことが大きな成果です。

(3)ハイブリッド集会

全校集会・児童集会等を会場とオンラインとで行いました。様々な工夫により教育活動の可能性を広げることができました。



(4)学校生活におけるICTの活用

Teamsによる欠席連絡システムやデジタル健康観察、formsによる学校評価等のアンケート集計、各種便りのホームページ掲載、長期欠席者へのオンライン授業、放課後オンライン授業を行っています。

